

DocuPrint M260 z

ユーザーズガイド 応用編



Microsoft、Windows Vista、Windows、およびWindows Server は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Illustrator は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Apple、Macintosh、iPad、iPhone、iPod、iPod touchおよびOS X は、Apple Inc. の商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、およびFuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

目 次

目 次	3
本ガイドの表記	6
マークについて	6
編集ならびに出版における通告	6
第 1 章 全体にかかわる設定	7
電話回線設定	7
手動で回線種別を設定する	7
利用中の電話回線の種別を調べる	7
音量設定	8
着信音量を設定する	8
ボタン確認音量を設定する	
〔ボタン確認音量&ブザー音量〕	8
スピーカー音量を設定する	8
省エネ設定	9
トナーを節約する〔トナー節約モード〕	9
スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕	9
ディープスリープモードについて	10
静音モードを設定する	10
トナー設定	11
トナーを連続して使用する〔連続印刷設定〕	11
液晶ディスプレイ設定	12
液晶ディスプレイのコントラストを調整する	12
液晶ディスプレイの表示言語を設定する〔日本語・English〕	12
モード設定	13
初期設定モードを設定する	13
モードタイマーを設定する	13
日付・時刻設定	14
日付・時計を合わせる〔時計セット〕	14
タイムゾーンを設定する	14
セキュリティ設定	15
セキュリティ機能の概要	15
設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕	15
ナンバー・ディスプレイ設定	17
ナンバー・ディスプレイサービスとは	17
ナンバー・ディスプレイを設定する	17
第 2 章 ファクス送信	18
便利な送信方法	18
通話後にファクスを送信する	18
他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕	18
同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕	18
原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕	19
海外へ送信する〔海外送信モード〕	20
指定時刻に送信する〔タイマー送信〕	20



便利な送信設定.....	21
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する 〔発信元登録〕.....	21
発信元登録を消去する	22
送付書を付けて送信する	22
送付書のオリジナルコメントを登録する	22
ファクス送信待ちを確認または解除する	23
宛先情報表示を設定する	23
画質を設定する	23
原稿濃度を設定する	24
ガラス面の読み取りサイズを設定する	24
便利な宛名指定機能.....	25
ワンタッチダイヤルを使用する	26
短縮ダイヤルを使用する	26
電話帳から検索する	26
同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕.....	27
自動再ダイヤルを設定する	27
チェーンダイヤルを使用する	27
ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する	28
特別設定について.....	29
特別回線対応を設定する	29
ダイヤルトーン検出の設定をする	29
安心通信モードを設定する	29
外線番号を設定する	30
第3章 ファクス受信	31
さまざまな受信方法.....	31
メモリ代行受信について	32
メモリ受信を設定する	32
電話呼び出し機能を設定する	33
呼び出し中にファクスを受信する	33
通話後にファクスを受信する	34
親切受信で受信する	34
本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる 〔リモート受信〕	35
受信時の設定	36
受信スタンプを設定する	36
ファクス無鳴動受信を設定する	36
呼び出し回数を設定する	36
再呼び出し回数を設定する	37
受信したファクスを両面印刷する	37
受信拒否設定をする	37
自動的に縮小して印刷する	38

第 4 章 転送・リモコン	39
ファクス転送機能	39
他の場所のファクシミリに転送する	39
ファクスをコンピュータで受信する〔PC ファクス受信〕	40
外出先から本製品を操作する：リモコン機能	41
暗証番号を設定する	41
外出先から本製品を操作する	41
リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕	43
第 5 章 レポート・リスト	45
レポート・リストの種類	45
レポートの出力を設定する	47
送信結果レポートの出力を設定する	47
通信管理レポートの出力間隔を設定する	47
第 6 章 必要なときに確認してほしいこと	48
文字を入力する	48
入力できる文字	48
文字の入力方法（変更方法）	48
入力例	49
用紙（記録紙）のこと	50
用紙の印刷可能範囲	50
原稿のこと	51
原稿サイズ	51
原稿の読み取り範囲	51
製品情報	52
製品情報の確認 / 印刷	52
ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします	53
設定機能の初期化	54
初期化とは	54
初期化のしかた	56
用語集	57

本ガイドの表記

マークについて

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
⇒ XXX ページ 「XXX」	参照先を記載しています。(XXX はページ、参照先)
【XXX】	本製品の画面内の表示を表しています。
[XXX]	コンピューター上の表示を表しています。

編集ならびに出版における通告

本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
富士ゼロックス株式会社は、本ガイドに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。
また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2015 Fuji Xerox Co.,Ltd. All rights reserved.

電話回線設定

手動で回線種別を設定する

自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

1 <メニュー>→<0>→<3>を押す

2 <▲>または<▼>を押して回線種別を選択し、<OK>を押す

回線種別の詳細については、⇒7ページ「利用中の電話回線の種別を調べる」を参照してください。

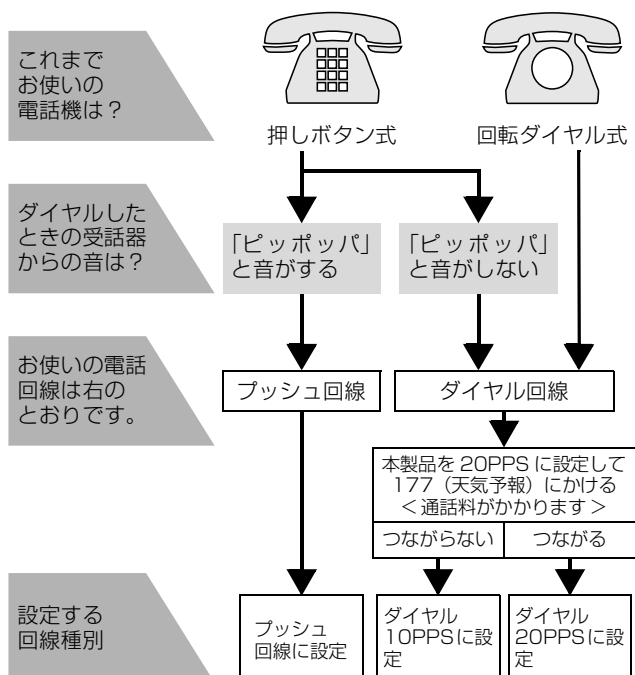
3 <停止/終了>を押す

補足

- プッシュ回線または ISDN 回線をお使いの場合は、【プッシュ回線】を選択してください。
- ひかり電話をお使いの場合は【プッシュ回線】を選択してください。
- 設定を誤ると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- IP電話対応機器（ADSLモデム、ルーター、IPフォンアダプタなど）に本製品を接続する場合、本製品の回線種別設定は、電話会社と契約している回線種別に手動で設定してください。回線種別を自動で設定した場合、「110」、「119」やフリーダイヤルなどに電話をかけられなかったり、ファクスの送信ができなくなる場合があります。

利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、以下の手順で調べることができます。もし、分からないときは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。



補足

- 構内交換機（PBX）など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できないときがあります。
- 一度自動設定すると、電源を入れ直しても、再度回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定を変更してください。

音量設定

着信音量を設定する

呼び出しベルの音量を調節します。

- 1
 <メニュー>→<1>→<4>→<1>
 を押す
- 2
 <▲>または<▼>を押して音量を選
 択し、<OK>を押す
- 3
 <停止/終了>を押す

ボタン確認音量を設定する 〔ボタン確認音量&ブザー音量〕

ボタン確認音（ダイヤルボタンなどを押したときに
 鳴る音）やブザー音（間違った操作をしたとき、紙
 づまりなど本製品に異常が起きたとき、ファクス送
 受信が終了したときに鳴る音）の音量を調節します。

- 1
 <メニュー>→<1>→<4>→<2>
 を押す
- 2
 <▲>または<▼>を押して音量を選
 択し、<OK>を押す
- 3
 <停止/終了>を押す

補足

【切】（ボタン確認音なし）を選んでも、本製品に異常が
 起きたときはブザー音が鳴ります。

スピーカー音量を設定する

手動でファクスを送信するとき、相手から「ピー」
 という音が聞こえる場合の音量を調節します。

- 1
 <メニュー>→<1>→<4>→<3>
 を押す
- 2
 <▲>または<▼>を押して音量を選
 択し、<OK>を押す
- 3
 <停止/終了>を押す

省エネ設定

トナーを節約する〔トナー節約モード〕

トナーを節約したいときは、トナー節約モードを【オン】に設定します。【オン】に設定すると印字が薄くなります。

- 1
1 <メニュー>→<1>→<5>→<1>
 を押す
- 2
2 <▲>または<▼>を押して【オン】
 を選択し、<OK>を押す
- 3
3 <停止/終了>を押す

スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

本製品は、受信したファクスの出力や印刷、コピーがすぐに開始できるよう常に一定の電気を供給しています。スリープモードは、設定した時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われなかったときにスリープ状態にして消費電力を減らします。ただし、ファクスの送受信には影響ありません。

- 1
1 <メニュー>→<1>→<5>→<2>
 を押す
- 2
2 操作パネルのダイヤル（数字）ボタ
 ンでスリープモードになるまでの時
 間を設定して、<OK>を押す
 分単位で設定します。
- 3
3 <停止/終了>を押す

補足

- 設定できる時間は、最大50分です。
- スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとすると、ウォーミングアップのために多少時間がかかります。
- スリープモードになるまでの時間を延長した場合、ご使用条件によっては部品の寿命に影響を与えることがあります。初期値での使用をお勧めします。
- スリープモードをオフに設定することはできません。

ディープスリープモードについて

本製品がスリープモードの場合、一定の時間内にファクスの受信や印刷、コピーが行われないと、自動的にディープスリープモードに切り替わり、液晶ディスプレイに【ディープスリープ】と表示されます。ディープスリープモードでは、スリープモードより少ない消費電力となり、本製品がコンピューターからデータを受信したり、操作パネルのボタンを押したりすると、本製品は起動します。

静音モードを設定する

静音モードは、本製品の印刷時の動作音を静かにすることができます。

静音モードが【オン】のときは、印字速度が遅くなります。

お買い上げ時の初期設定は、【オフ】に設定されています。

1 <メニュー>→<1>→<5>→<3>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して【オン】
を選択し、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

トナー設定

トナーを連続して使用する(連続印刷設定)

液晶ディスプレイに【トナー交換】と表示された場合、【トナー継続使用】を【オン】に設定すると【トナー停止】と表示されるまでそのまま印刷を続けることができます。

注記

- 【トナー交換】と表示されたら、トナーの残量が少なくなっているため、トナーカートリッジの交換をおすすめします。
- 連続印刷設定で印刷する場合は、印刷保証できません。
- 連続印刷設定で印刷をしている間は、印字が薄くなることがあります。
- トナーカートリッジ交換後は、連続印刷設定は初期設定(【オフ】)に戻ります。【オフ】の状態では、【トナー交換】と表示されると印刷ができなくなります。

- 1 <メニュー>→<1>→<9>を押す
- 2 <▲>または<▼>を押して【オン】を選択し、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

連続印刷設定でファクス受信する場合

液晶ディスプレイに【トナー交換】と表示されたときに【トナー継続使用】を【オン】に設定すると、本製品は受信したファクスを印刷し、自動的にメモリーに保存します。【オフ】に設定すると、メモリーにファクスが保存されますので、トナーカートリッジを交換してください。

受信したファクスを連続印刷設定で印刷した場合、液晶ディスプレイに【1件の印刷済みファクスをメモリーに蓄積しています。印刷されたファクスは読めますか?】と表示されます。

- 印刷品質が良い場合は、<1>を押す
液晶ディスプレイに【メモリーに蓄積したファクスを消去しますか?】と表示されます。削除する場合は、<1>を押します。削除しない場合は<2>を押します。
- 印刷品質が良くない場合は、<2>を押す
本製品はメモリーにファクスを保存します。新しいトナーカートリッジに交換後ファクスを再印刷することができます。

補足

- 本製品のメモリーには、400ページまでのファクスを保存できます。
- 新しいトナーカートリッジに交換すると液晶ディスプレイに【Faxデータが残っています】と表示されます。メモリーに保存されているファクスを印刷する場合は<1>を、削除する場合は<2>を押してください。
- 連続印刷設定を【オフ】に変更した場合でも本製品は、【オン】設定時に保存したファクスを保存します。

連続印刷設定時にトナーがなくなった場合

連続印刷設定時、液晶ディスプレイに【トナー停止】と表示された場合、本製品は受信したファクスを自動的にメモリーに保存し、印刷を停止します。新しいトナーカートリッジに交換してください。

- メモリーがいっぱいの状態でファクスの受信を継続する場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。
- 新しいトナーカートリッジに交換すると液晶ディスプレイに【Faxデータが残っています】と表示されます。<1>を押して、保存したファクスを印刷してください。

液晶ディスプレイ設定

液晶ディスプレイのコントラストを調整する

液晶ディスプレイが見えにくいときは、コントラストを調整します。

- 1
＜メニュー＞→＜1＞→＜6＞を押す
- 2
＜◀＞または＜▶＞を押してコントラストを調整し、＜OK＞を押す
- 3
＜停止/終了＞を押す

液晶ディスプレイの表示言語を設定する〔日本語・English〕

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。お買い上げ時の設定は、日本語表示です。

英語表示に切り替える

英語による説明を以下に示します。
This setting allows you to change LCD language to English.

- 1
＜メニュー＞→＜0＞→＜0＞を押す
(Press ＜メニュー＞→＜0＞→＜0＞.)
- 2
＜▲＞または＜▼＞を押して
【English】を選択し、＜OK＞を押す
(Press ＜▲＞ or ＜▼＞ to select 【English】.
Press ＜OK＞.)
- 3
＜停止/終了＞を押す
(Press ＜停止/終了＞ to exit.)

日本語表示に切り替える

- 1
＜メニュー＞→＜0＞→＜0＞を押す
- 2
＜▲＞または＜▼＞を押して【日本語】
を選択し、＜OK＞を押す
- 3
＜停止/終了＞を押す

モード設定

操作パネルのモード選択ボタンでファクス、コピー、スキャンの各モードを選択することができます。現在選択されているモード選択ボタンが点灯します。

初期設定モードを設定する

初期設定モードを設定できます。
本製品の操作後、モードタイマーの設定時間が経過したとき、設定したモードに戻ります。

- 1
＜メニュー＞→＜1＞→＜1＞を押す
- 2
＜▲＞または＜▼＞を押してモードを選択し、＜OK＞を押す
- 3
＜停止/終了＞を押す

モードタイマーを設定する

各モードで操作後、自動的に初期設定モードで設定したモードに戻る時間を設定することができます。
【切】を選択すると、最後に使ったモードを保持します。

- 1
＜メニュー＞→＜1＞→＜2＞を押す
- 2
＜▲＞または＜▼＞を押して時間を選択し、＜OK＞を押す
- 3
＜停止/終了＞を押す

日付・時刻設定

日付・時計を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録がされていれば相手側の用紙にも日付と時刻が印刷されます。

1 <メニュー>→<0>→<1>→<1>
を押す

2 以下の手順で日付と時刻を設定する

- 1 年号（西暦の下2桁）を入力→<OK>
例：2015年の場合は<1>、<5>を入力
- 2 月（2桁）を入力→<OK>
例：8月の場合は<0>、<8>を入力
- 3 日付（2桁）を入力→<OK>
例：21日の場合は<2>、<1>を入力
- 4 時刻（24時間制）を入力→<OK>
例：午後3時25分の場合は<1>、<5>、<2>、<5>を入力

3 <停止/終了>を押す

補足

- 時刻は目安ですので、気になるときは1ヶ月おきに合わせてください。
- 60時間以上停電した場合は、日付と時刻の再設定をしてください。

タイムゾーンを設定する

お住まいの国のタイムゾーンを設定します。ここで設定される値は、世界標準時間との時差になります。（例：日本は、UTC+09:00）
ここで設定したタイムゾーンは、インターネット経由で送信したドキュメントに使用されます。

1 <メニュー>→<0>→<1>→<2>
を押す

2 タイムゾーンを入力して<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

補足

- UTC（協定世界時）
GMT（グリニッジ標準時）とほぼ同じ時刻ですが、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な世界標準時刻のことで、1972年1月1日より使用されています。
- ウェブブラウザ設定を使って設定することもできます。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

セキュリティ設定

パスワードを登録して設定変更を制限することができます。

セキュリティ機能の概要

本製品のセキュリティ機能の概要は以下のとおりです。

補足

- パスワードが登録済みの場合、再登録の必要はありません。
- 登録したパスワードを忘れてしまったときは、プリンターサポートデスクにご連絡ください。

機能	対象	制限される内容
セキュリティ設定ロック	すべてのユーザー	<メニュー>からのすべてのメニューの設定変更を制限

設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕

セキュリティ設定ロック機能の設定の流れを説明します。

補足

セキュリティ設定ロックが設定されている場合でも、各モードボタンから一時的に設定変更することは可能です。また、ウェブブラウザ設定やリモートセットアップを経由して設定することもできます。

STEP 1 パスワードを登録する

セキュリティ設定ロックを管理するためのパスワードを登録します。
⇒ 16 ページ「パスワードを登録する」

STEP 2 設定をオンにする

セキュリティ設定ロックを有効にします。
⇒ 16 ページ「セキュリティ設定ロックをオンにする」

パスワードを登録する

- 1 <メニュー>→<1>→<7>を押す
- 2 <▲>または<▼>を押して【パスワード設定】を選択し、<OK>を押す
- 3 以下の手順でパスワードを入力する
 - 1 ダイヤルボタンでパスワード（4桁）を入力→<OK>
 - 2 再度パスワードを入力→<OK>
- 4 <停止/終了>を押す

セキュリティ設定ロックをオンにする

- 1 <メニュー>→<1>→<7>を押す
- 2 以下の手順でセキュリティ設定ロックをオンにする
 - 1 <▲>または<▼>（【オン】を選択）→<OK>
 - 2 パスワード（4桁）を入力→<OK>
- 3 <停止/終了>を押す

パスワードを変更する

- 1 <メニュー>→<1>→<7>を押す
- 2 <▲>または<▼>を押して【パスワード設定】を選択し、<OK>を押す
- 3 以下の手順でパスワードを変更する
 - 1 現在のパスワード（4桁）を入力→<OK>
 - 2 新しいパスワード（4桁）を入力→<OK>
 - 3 再度新しいパスワード（4桁）を入力→<OK>
- 4 <停止/終了>を押す

セキュリティ設定ロックをオフにする

- 1 <メニュー>→<1>→<7>を押す
- 2 以下の手順でセキュリティ設定ロックをオフにする
 - 1 登録済みパスワード（4桁）を入力→<OK>
 - 2 <OK>
- 3 <停止/終了>を押す

ナンバー・ディスプレイ設定

本製品では、ご利用の電話会社との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に液晶ディスプレイに表示されるサービスです。サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。本製品ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- 電話番号表示機能
電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 名前表示機能
電話帳に名前が登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前と電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。
- 着信履歴機能
電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。(20件まで記録できます。21件以上になると、古い順に削除されます。)
着信履歴の電話番号を電話帳に登録する方法は、⇒ユーザーズガイド 基本編「発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する」を参照してください。

補足

- 本製品はキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプタの設定が必要です。
- IP 電話を利用されているときは、VoIP アダプタ (IP 電話対応機器) の設定が必要です。
- 構内交換機 (PBX) に接続しているときは、ナンバー・ディスプレイサービスを利用できません。
- ブランチ接続 (並列接続) をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やホームセキュリティ装置などが接続されている場合は、ナンバー・ディスプレイ機能が正常に動作しないことがあります。

ナンバー・ディスプレイを設定する

電話番号の表示方法は以下の中から選択できます。

- 【オン】
本体の液晶ディスプレイに相手の電話番号または名前が表示されます。
- 【オフ】
相手の電話番号または名前が表示されません。
- 【外付け電話優先】
本製品に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。

1 <メニュー>→<2>→<0>→<2>を押す

2 <▲>または<▼>を押して電話番号の表示方法を選択し、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

注記

【外付け電話優先】で使用する場合、本製品の受信モードを【F/T=自動切換え】に設定すると、本製品と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。

補足

- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、電話会社との契約が必要です。契約していない場合は【オフ】にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を【オン】、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定をオフにしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを本製品と接続されている電話機で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を【外付け電話優先】、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定をオンにしてください。
- 【外付け電話優先】に設定した場合、着信履歴は本製品に残りません。

便利な送信方法

通話後にファクスを送信する

相手と通話した後にファクスを送信します。

- 1
相手先のファクシミリのスタートボタンを押してもらう
- 2
原稿をセットして、＜スタート＞を押す
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で＜1＞を押してください。
- 3
製品に接続されている電話機の手話器を戻す

他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕

ファクスの送受信や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中、液晶ディスプレイには新しいジョブ番号が表示されます。

補足

ファクスを手動で送信しているときや、リアルタイム送信時は、次に送りたいファクス原稿の読み込みができません。

同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。送信先は、ダイヤルボタンで直接入力するか、または、登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルから指定します。（ダイヤルボタンで最大50か所、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルと合わせて最大258か所まで指定できます。）

- 1
ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする
- 2
宛先の入力方法を選ぶ
 - ・ 直接入力：ダイヤルボタンで相手先のファクス番号を入力します。
 - ・ 電話帳：リストから相手先を選択します。
- 3
宛先を指定して、＜OK＞を押す
同様の手順ですべての宛先を指定します。1件登録するごとに以下の液晶ディスプレイが表示されますが、すべての宛先を指定し終えるまで＜スタート＞は押さないでください。

ダイヤルしてください
スタートボタンを押してください

4 <スタート>を押す

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、液晶ディスプレイに次の原稿の有無を確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。
- すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、待機状態に戻ります。
- 同報送信レポートを確認し、「エラー」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

補足

- 送信途中でキャンセルするには<停止/終了>を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認するメッセージが表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。
- 送信先を間違えたときは、<停止/終了>を押して最初から入力し直してください。
- 送信できる枚数はメモリーの残量によって制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、重複した相手先が自動的に削除されます。
- 原稿読み込み中に【メモリがいっぱいです】と表示されたら、<停止/終了>を押して中止してください。原稿が複数枚の場合は、<スタート>を押して読み込まれた分だけ送信することもできます。

原稿を読み取りながら送信する 〔リアルタイム送信〕

原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<2>→<3>→<4>を押す

3 <▲>または<▼>で【オン】を選択して、<OK>を押す

4 <2>を押す

その他のファクス送信設定を変更する場合は、<1>を押してください。

5 宛先を指定して、<スタート>を押す

補足

- リアルタイム送信を【オン】に設定すると、原稿はメモリーに蓄積されません。
- リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。
- リアルタイム送信が【オン】に設定されている場合、タイマー送信は設定することができません。
- 原稿台ガラスから送信する場合、原稿は1枚しか送信できません。
- 原稿台ガラスから送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。

海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを【オン】に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

海外送信モードの設定は以下の中から選択できます。

- ・【今回のみ:オン】：今回のみ海外送信モードで送る
- ・【オン】：毎回海外送信モードで送る
- ・【オフ】：海外送信モードを使用しない

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<2>→<3>→<6>を押す

3 <▲>または<▼>で、【今回のみ:オン】または【オン】を選択して、<OK>を押す

4 <2>を押す

その他のファクス送信設定を変更する場合は、<1>を押してください。

5 宛先を指定して、<スタート>を押す

補足

- 相手のファクシミリとつながるまで時間がかかるために送信できないとき、ADFに原稿がある場合は手動送信で相手の「ピー」という信号音を聞いてから<スタート>を押して送信してください。原稿台ガラスに原稿がある場合は、<スタート>を押してから<1>（1.送信）を押してください。
- 【今回のみ:オン】を選択したときは、1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は自動的に【オフ】に戻ります。
- 海外送信モードを【オン】にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなる場合があります。

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信することができます。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<2>→<3>→<3>を押す

3 送信する時刻を入力して、<OK>を押す

例：午後3時5分の場合は「1505」

4 <2>を押す

その他のファクス送信設定を変更する場合は、<1>を押してください。

5 宛先を指定して、<スタート>を押す

補足

- メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容によって異なります。
- 相手が話し中などで送信できなかったときは、5分おきに3回まで再ダイヤルします。
- リアルタイム送信が【オン】に設定されている場合、タイマー送信は設定することができません。リアルタイム送信を【オフ】に設定してください。
⇒19ページ「原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕」を参照してください。
- 電源をオフにした状態が60時間を超えると、タイマー送信設定（送信時刻）とともにファクスデータ（タイマー送信データ）がメモリーから消去されることがあります。

便利な送信設定

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する 〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前とファクス番号）が相手側の用紙の先頭に印刷されます。

2015/08/21 15:25	03XXXXXXXX 富士太郎	ページ 01/01
------------------	-----------------	-----------

〇〇〇のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

1 <メニュー>→<0>→<2>を押す

2 以下の手順で発信元を登録する

- 1 ファクス番号を入力→<OK>
- 2 電話番号を入力→<OK>
- 3 名前を入力→<OK>

補足

- ファクス番号と電話番号は、20 桁まで登録できます。カッコ【()】、ハイフン【-】は登録できません。
- 名前は20文字まで登録できます。
- 電話とファクスを同一回線（1 番号）で使用している場合は、ファクス番号と電話番号が同じ番号になりますのでファクス番号を入力してください。

補足

- リモートセットアップ機能を利用すると、コンピューターから発信元を登録することもできます。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
- 文字入力のしかたについては⇒48 ページ「文字を入力する」を参照してください。
- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書を送信することはできません。送付書については⇒22 ページ「送付書を付けて送信する」を参照してください。

3 <停止/終了>を押す

発信元登録を消去する

1 <メニュー>→<0>→<2>を押す

2 以下の手順で発信元を消去する

- 1 <2> (【消去】を選択)
- 2 <1> (【はい】を選択)

3 <停止/終了>を押す

送付書を付けて送信する

ファクスに送付書をつけて送信することができます。送付書には相手先名、こちらの名前、電話番号、ファクス番号、コメントなどが印刷されます。

注記

発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと送付書送信の設定ができません。⇒21ページ「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する〔発信元登録〕」を参照してください。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<2>→<3>→<5>→<1>を押す

3 <▲>または<▼>を押して【オン】を選択し、<OK>を押す

4 <▲>または<▼>でコメントを選択して、<OK>を押します。

5 <2>を押す

その他のファクス送信設定を変更する場合は、<1>を押してください。

6 宛先を指定して、【スタート】を押す

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、液晶ディスプレイに次の原稿の有無を確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。

補足

- オリジナルコメントの登録のしかたは⇒22ページ「送付書のオリジナルコメントを登録する」を参照してください。
- 送付書の「TO:」の名前は、あらかじめ電話帳に登録されていないと表示されません。⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」を参照してください。

送付書のオリジナルコメントを登録する

オリジナルコメントを作成し、送付書のコメントとして登録することができます。

1 <メニュー>→<2>→<3>→<5>→<2>を押す

2 以下の手順でコメントを登録する

- 1 <▲>または<▼>（コメントを登録する箇所（5または6）を選択）→<OK>
- 2 コメントを入力→<OK>

補足

コメントは26文字まで入力できます。文字の入力のしかたについては⇒48ページ「文字を入力する」を参照してください。

3 <停止/終了>を押す

ファクス送信待ちを確認または解除する

メモリ送信の待ち状況を確認できます。
メモリ送信、タイマー送信などのジョブを解除することができます。

1 <メニュー>→<2>→<9>を押す

2 <▲>または<▼>を押して解除する
内容を選択し、<OK>を押す
確認のみのときは<停止/終了>を押します。

3 解除するときは<1>を押す
解除を中止するときは<2>を押します。

4 <停止/終了>を押す

補足

送信待ちのファクスがないときには【通信待ちはありません】と表示されます。

宛先情報表示を設定する

ファクス送信中、画面に相手先の電話番号の表示を設定することができます。

- ・【表示】：
画面に相手先の情報を表示する
- ・【非表示】：
画面に相手先の情報を表示しない

1 <メニュー>→<2>→<3>→<7>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して【表示】
を選択し、<OK>を押す
表示させたくない場合は、【非表示】を選択します。

3 <停止/終了>を押す

画質を設定する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

画質は以下の中から選択できます。

- ・【標準】（標準モード）：
大きくはっきり見える文字のとき
- ・【ファイン】（ファインモード）：
小さい文字のとき
- ・【スーパーファイン】（スーパーファインモード）：
新聞のように細かい文字のとき
- ・【写真】（写真モード）：
写真を含む原稿のとき

補足

- ファイン、スーパーファイン、または写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くなります。
- 写真モードで送信しても、相手側のファクシミリに標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿
をセットする

2 <メニュー>→<2>→<3>→<2>
を押す

3 <▲>または<▼>で画質を選択して、
<OK>を押す

4 <2>を押す
その他のファクス送信設定を変更する場合は、
<1>を押してください。

5 宛先を指定して、<スタート>を押す
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、液晶ディスプレイに次の原稿の有無を確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。

原稿濃度を設定する

原稿に合わせ濃度を変更して、ファクスを送信することができます。

原稿濃度は以下の中から選択できます。

- ・【自動】：
普通の文字の原稿が多いときに設定します。
- ・【濃く】：
えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。
- ・【薄く】：
濃い色の原稿が多い場合に設定します。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<2>→<3>→<1>を押す

3 <▲>または<▼>を押して原稿濃度を選択し、<OK>を押す

4 <2>を押す
その他のファクス送信設定を変更する場合は、<1>を押してください。

5 宛先を指定して、<スタート>を押す
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、液晶ディスプレイに次の原稿の有無を確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。

ガラス面の読み取りサイズを設定する

原稿台ガラスからファクスを送るとき、読み取りサイズをあらかじめ設定しておくことができます。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <メニュー>→<1>→<8>→<1>を押す

3 <▲>または<▼>を押して原稿台スキャンサイズを選択し、<OK>を押す

4 <停止/終了>を押す

5 宛先を指定して、<スタート>を押す

便利な宛名指定機能

宛先を指定するには以下の方法があります。

指定方法	詳細	準備しておくこと	参照
ダイヤルボタン	入力した番号に送信します。	—	⇒ユーザーズガイド 基本編「ファクスを手動で送信する」
ワンタッチダイヤル	ワンタッチボタンに登録されている番号に送信します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「ワンタッチダイヤルに登録する」	⇒26ページ「ワンタッチダイヤルを使用する」
短縮ダイヤル	短縮ダイヤルに登録されている番号に送信します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「短縮ダイヤルに登録する」	⇒26ページ「短縮ダイヤルを使用する」
電話帳から検索	電話帳（ワンタッチダイヤル/ 短縮ダイヤル/ グループダイヤル）に登録されている名前の読みがなから番号を指定して送信します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「ワンタッチダイヤルに登録する」 ⇒ユーザーズガイド 基本編「短縮ダイヤルに登録する」	⇒26ページ「電話帳から検索する」
再ダイヤル	同じ相手にもう一度送信します。	—	⇒27ページ「同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕」
自動再ダイヤル	相手先が通話中などでファクス送信できないときは、5分おきに3回まで自動で再ダイヤルします。	—	⇒27ページ「自動再ダイヤルを設定する」
チェーンダイヤル	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した番号を相手先の電話番号やファクス番号につなげてダイヤルすることができます。 例えば・・・ <ul style="list-style-type: none"> • 電話番号の前に識別番号を付けて電話代を節約する。 →短縮ダイヤルに識別番号を登録しておいて、電話番号と組み合わせてダイヤルできます。 • 国際電話をかける手間を省く。 →国名と国番号を登録しておく、簡単に国際電話をかけることができます。 	⇒ユーザーズガイド 基本編「ワンタッチダイヤルに登録する」 ⇒ユーザーズガイド 基本編「短縮ダイヤルに登録する」	⇒27ページ「チェーンダイヤルを使用する」

注記

ボタンを押し間違えたときは、必ず<停止/終了>を押し、消去してから再度送信先を入力してください。

ワンタッチダイヤルを使用する

ワンタッチボタン（1～8）を押すだけで、登録されているファクス番号を指定することができます。ワンタッチダイヤルの指定のしかたは以下のとおりです。

- 1～4を指定するとき
ワンタッチボタンを押します。
- 5～8を指定するとき
＜シフト＞を押しながらワンタッチボタンを押します。



補足

ワンタッチダイヤルの登録のしかたは⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」を参照してください。

短縮ダイヤルを使用する

＜▲＞を2回押した後、短縮番号（001～200）を押すだけで、登録されている電話 / ファクス番号を指定することができます。短縮ダイヤルには最大200件登録できます。

補足

短縮ダイヤルの登録のしかたは⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」を参照してください。

電話帳から検索する

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した番号は、すべて電話帳から登録した名前の読みがなで検索することができます。検索のしかたは以下のとおりです。

1 ＜▲＞を押す

2 検索したい名前の読みがなの最初の文字を入力して、＜OK＞を押す

入力した文字から始まる名前が50音順、またはアルファベット順に表示されます。

3 ＜▲＞または＜▼＞で該当の名前を選択して、＜OK＞押す

補足

- 電話帳やグループダイヤルの登録のしかたについては⇒ユーザーズガイド 基本編「電話帳の基本」を参照してください。
- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたについては⇒45ページ「レポート・リストの種類」を参照してください。
- 文字入力のしかたについては⇒48ページ「文字を入力する」を参照してください。

同じ相手にもう一度送信する 〔再ダイヤル〕

- 1
ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする
- 2
〈再ダイヤル/ポーズ〉を押す
- 3
〈▲〉または〈▼〉で該当の名前を選択し、〈OK〉を押す

自動再ダイヤルを設定する

相手先が通話中などでファクス送信できなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。設定は以下の中から選択できます。

- ・【オン】：
5分おきに3回まで自動で再ダイヤルを行います。
お買い上げ時は【オン】に設定されています。
- ・【オフ】：
自動で再ダイヤルを行いません。

- 1
〈メニュー〉→〈2〉→〈3〉→〈8〉を押す
- 2
〈▲〉または〈▼〉を押して【オン】を選択し、〈OK〉を押す
- 3
〈停止/終了〉を押す

補足

- 相手先を誤ってファクス送信すると、間違った相手を何度も呼び出すことになります。正しい番号であるかを確認してください。
- 自動再ダイヤルでも送信できなかったときは、送信を中止し、送信結果レポートが印刷されます。「結果」の欄が「エラー」または「話し中」であることを確認し、再度送信してください。
- 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
- 原稿台ガラスからリアルタイム送信する場合は、自動再ダイヤルはされません。
- 送信した内容が相手先に届いても、本製品が相手先ファクスからの「受信が正しく行われたメッセージ」信号を受信できなかった場合、通信エラーとして処理され、自動的に再ダイヤルします。

チェーンダイヤルを使用する

短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、ダイヤルボタンの直接入力を組み合わせて宛先を指定することができます。

1 ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルで番号を指定する

- ・ワンタッチダイヤル
ワンタッチボタンを押します。
5～8を指定するときは〈シフト〉を押しながらワンタッチボタンを押します。
- ・短縮ダイヤル
〈▲〉を2回押して、短縮ダイヤル番号を押します。

2 続けて組み合わせる番号をワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、ダイヤルボタンで指定して、〈スタート〉を押す

補足

電話番号の途中でポーズを入力するには、〈再ダイヤル/ポーズ〉を押します。

ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する

ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように、ダイヤル発信を制限することができます。
制限するダイヤルと制限内容は以下のとおりです。

制限の種類	操作
直接入力	<メニュー> → <2> → <8> → <1>
ワンタッチダイヤル	<メニュー> → <2> → <8> → <2>
短縮ダイヤル	<メニュー> → <2> → <8> → <3>

制限の設定は以下の中から選択できます。

- ・【オフ】：
通常のファクス送信を行います。
- ・【2度入力】：
ファクス番号の再入力が必要で、正しい番号を入力した場合にのみ、ファクス送信を行います。間違った番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。
- ・【オン】：
ファクス送信を禁止します。

注 記

- 外付け電話使用時や<オンフック/保留>を押してからダイヤルする場合は、「2度入力」設定はできません。
- 【オン】または【2度入力】に設定すると、同報送信やチェーンダイヤルは使用できません。

特別設定について

使用状況に応じて設定をしてください。

特別回線対応を設定する

ファクスがうまく送受信できないときなどに、使用している回線を特定して設定を行ってください。

- 1 <メニュー>→<0>→<5>を押す
- 2 <▲>または<▼>を押して回線を選択し、<OK>を押す

- 3 <停止/終了>を押す

補足

【PBX】に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が【オフ】になります。ナンバー・ディスプレイの設定を再度【オン】にするときは、特別回線対応の設定を【一般】にしてください。

ダイヤルトーン検出の設定をする

本製品を構内交換機（PBX）やIP電話アダプタに接続していると、発信できなくなる場合があります。その場合は【検知しない】にしてください。

- 1 <メニュー>→<0>→<4>を押す
- 2 <▲>または<▼>を押して設定を選択し、<OK>を押す

- 3 <停止/終了>を押す

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線で、ファクスをより確実に送受信したいときに設定します。

【高速】→【標準】→【安心（VoIP）】の順で送受信時間は遅くなりますが、【標準】または【安心（VoIP）】に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。

- 1 <メニュー>→<2>→<0>→<1>を押す

- 2 <▲>または<▼>を押して回線を選択し、<OK>を押す

- 3 <停止/終了>を押す

補足

- IPフォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを4つ）を付けておかけください。この場合、通信料金はNTTなどのお客様がご利用になっている電話会社からの請求となります。
- ファクスの送信エラーには、以下のような多くの要素があります。
 - ・ 通信回線の品質
 - ・ 信号レベル
 - ・ 通信相手機の影響
 - ・ 屋内線の配線や接続している機器の影響

本製品側だけで通信エラーを解消できるものではありません。

外線番号を設定する

構内交換機（PBX）などを利用している電話回線の環境において、外線発信するときに必要な外線（識別）番号を登録しておくことができます。外線番号を押してからダイヤルしたり、外線番号を付けて電話帳に登録したりする必要がなくなります。外線番号を必要としない場合は、登録しないでください。

1
1 <メニュー>→<0>→<6>を押す

2
2 登録するダイヤルの内容を設定して、
 【OK】を押す

- 登録できる番号は最大5桁です。
- 【0】～【9】、【*】、【#】、【!】が登録できます。

3
3 <停止/終了>を押す

補足

- 【!】は、単独でしか使用できません。（他の数字、記号と組み合わせることはできません。）
- <オンフック/保留>を押して、【!】を入力すると、番号の登録はできません。
- PCファクス送信時は、PCファクスの外線番号の設定が優先されます。
- ダイヤル10PPS、ダイヤル20PPS回線をご利用の場合は【*】、【#】を登録できません。

さまざまな受信方法

ファクス受信には大きく分けて2つの方法があります。

- ・ 自動的に受信：一度設定すると、受信時の操作は必要ありません。
- ・ 手動で受信：受信時に本製品、または本製品に接続されている電話機を操作する必要があります。

以下の表を参考に受信方法を選択してください。

受信方法			内容	参照
自動的に受信	自動受信	本体から用紙に印刷	設定した回数の着信音が鳴り終わると、本製品が自動的にファクスを受信し、印刷します。	⇒ユーザーズガイド 基本編「受信モードの種類」
	メモリ代行受信	本体のメモリーで受信	自動受信を設定しているときでも、用紙がないなど印刷できない場合には、自動的にメモリーに受信します。	⇒32 ページ「メモリ代行受信について」
	メモリ受信		受信したファクスをメモリーに蓄積します。あとから印刷したり、外出先から取り出したりすることができます。	⇒32 ページ「メモリ受信を設定する」 ⇒32 ページ「メモリーに受信したファクスを印刷する」
	電話呼び出し受信		受信したファクスをメモリーに蓄積して、登録しておいた電話番号に自動的にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。	⇒33 ページ「電話呼び出し機能を設定する」
手動で受信	呼び出し中受信	本製品の操作で受信	呼び出しベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機の受話器を取り、本製品を操作してファクスを受信します。	⇒33 ページ「呼び出し中にファクスを受信する」
		電話機のリモート操作で受信〔リモート受信〕	呼び出しベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機の受話器を取り、電話機からのリモート操作でファクスを受信します。	⇒33 ページ「呼び出し中にファクスを受信する」 ⇒35 ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」
	通話後受信	本製品の操作で受信	相手と通話した後に本製品を操作してファクスを受信します。	⇒34 ページ「通話後にファクスを受信する」
		電話機のリモート操作で受信〔リモート受信〕	相手と通話した後に本製品に接続されている電話機からのリモート操作でファクスを受信します。	⇒34 ページ「通話後にファクスを受信する」 ⇒35 ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」
	親切受信	電話機の受話器を取って受信	本製品に接続されている電話機の受話器を取ったとき相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま7秒待つと自動的にファクスを受信することができます。	⇒34 ページ「親切受信で受信する」

メモリ代行受信について

以下の状況になった場合、本製品は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに蓄積します。

- ・カバーが開いているとき：
【カバーが開いています】※
- ・用紙（記録紙）がなくなったとき：
【記録紙を送れません】※
- ・トナーがなくなったとき：
【トナー交換】※
- ・用紙（記録紙）がつつまったとき：
【紙詰まり XXXX】※
- ・用紙のサイズを間違えてセットしたとき：
【用紙サイズが違います】※

画面の指示に従って処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリーから消去されます。

※ 状況に応じて画面に表示されるエラーメッセージです。

注記

メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信できません。

メモリ受信を設定する

メモリ受信を設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積して、あとから印刷したり、外出先から取り出すことができます。

補足

メモリ受信と、電話呼び出し機能、ファクス転送、PCファクス受信は同時に使用できません。

1 <メニュー>→<2>→<7>→<1>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して
【メモリ受信】を選択し、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

補足

- メモリ受信は最大400ページまでできます。（ただしメモリーの残量や原稿の内容によって変化します。）
- 用紙がないときは、メモリ受信の設定が【オフ】に設定されていても、メモリ代行受信を行います。
- メモリーに蓄積されたファクスを外出先から取り出さないまま、メモリ受信を【オフ】にすると【ファクスを消去しますか?】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、【いいえ】を選択してください。【はい】を選択するとメモリーから消去されます。

メモリーに受信したファクスを印刷する

メモリ受信が設定されているときに、メモリ受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するとともに、メモリーから消去します。

1 <メニュー>→<2>→<7>→<4>
を押す

2 <スタート>を押す

3 印刷終了後、<停止/終了>を押す

補足

メモリーに何も蓄積されていないときは、液晶ディスプレイに【データがありません】と表示されます。<停止/終了>を押してください。

電話呼び出し機能を設定する

ファクスを受信すると自動的に登録した呼び出し先の電話番号にダイヤルする機能です。電話に出ると、「ポッポッ」という音でファクスを受信したことを知らせます。

補足

電話呼び出し機能と、メモリ受信、ファクス転送、PCファクス受信は同時に使用することはできません。

1 <メニュー>→<2>→<7>→<1>を押す

2 以下の手順で電話呼び出しを設定する

- 1 <▲>または<▼>（【電話呼び出し】を選択）→<OK>
- 2 呼び出し番号を入力（最大20桁）→<OK>

3 <停止/終了>を押す

補足

電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてファクスを受信したことを知らせます。外出先のファクシミリから受信したファクスを取り出すこともできます。⇒44ページ「外出先からファクスを取り出す」を参照してください。

注記

電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

呼び出し中にファクスを受信する

呼び出しベルが鳴っている間に本製品に接続されている電話機の手話器を取り、ファクスを受信します。

1 呼び出しベルが鳴ったら、本製品に接続されている電話機の手話器を取る

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、受信操作を行う

- 本製品から受信する
<スタート>→<2>を押します。
- 電話機のリモート操作で受信する
本製品に接続されている電話機の手話器のダイヤルボタンで、リモート起動番号（#51）を押します。
リモート受信の詳細は⇒35ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる【リモート受信】」を参照してください。
- 相手と通話した後にファクスを受信する
<スタート>を押し、<2>を押してファクスを受信します。

3 受話器を戻す

補足

- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについては⇒ユーザーズガイド 基本編「まずは使ってみましょう」を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 親切受信を【オン】に設定している場合は、受話器を上げたまま約7秒間待つと、自動でファクスを受信できます。
⇒34ページ「親切受信で受信する」を参照してください。
- 呼び出しベル回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼び出しベル回数を6回以下に設定されることをお勧めします。
- 相手が手動送信のファクスの場合は、受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認してから<スタート>→<2>を押してください。
- 本製品に接続されている電話機の手話器を取った場合は、電話機でリモート起動番号「#51」を押します。リモート受信の詳細は、⇒35ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる【リモート受信】」を参照してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADFに原稿がセットされていないことを確認してください。ただし、リモート受信の場合は、ADFに原稿がセットされていても送信されずにファクス受信します。

通話後にファクスを受信する

相手と通話した後に、回線をつないだままファクスを受信することができます。

1 相手先のファクシミリに原稿をセットし、スタートを押してもらう

2 「ポーポー」という音が受話器から聞こえたら、受信操作を行う

- 本製品から受信する
＜スタート＞→＜2＞を押します。
- 電話機のリモート操作で受信する
本製品に接続されている電話機のダイヤルボタンで、リモート起動番号（#51）を押します。
リモート受信の詳細は⇒35ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。

注記

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある状態でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

3 受話器を戻す

親切受信で受信する

本製品に接続されている電話機の手話器を取ったときに相手がファクスだった場合、手話器を上げたまま7秒待つと、自動的にファクスを受信することができます。

1 ＜メニュー＞→＜2＞→＜2＞→＜4＞を押す

2 ＜▲＞または＜▼＞を押して【オン】を選択し、＜OK＞を押す

3 ＜停止/終了＞を押す

補足

受信時の操作

- 親切受信を【オン】に設定している場合
 - 本製品に接続されている電話機の手話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえた場合は約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。画面に【受信中】と表示されたら手話器を戻します。
 - 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスに切り替わらないときがあります。そのときは、手話器を持ったまま、＜スタート＞→＜2＞を押して受信します。
 - 本製品に接続されている電話機からリモート受信することもできます。詳しくは、⇒35ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。
- 親切受信を【オフ】に設定している場合
 - 本製品に接続されている電話機の手話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえた場合は相手がファクスですので、＜スタート＞→＜2＞を押して受信します。このとき、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADFに原稿がセットされていないことを確認してください。
 - 本製品に接続されている電話機からリモート受信することもできます。詳しくは、⇒35ページ「本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕」を参照してください。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と誤認識し、ファクスに切り替わってしまうことがあります。そのときは親切受信の設定を【オフ】に設定してください。
- 親切受信機能は、本製品に接続されている電話機を手話器を上げてから40秒間有効です。40秒以上経過してからファクス信号が送られてきても親切受信しません。

本製品に接続されている電話機からファクスを受信させる〔リモート受信〕

親切受信がうまく働かないとき、または親切受信の設定が【オフ】になっている場合は、本製品に接続されている電話機を操作してファクスを受信させることができます。

注記

ダイヤル回線（20PPS、10PPS）に設定してある状態でリモート受信を行うときは、本製品に接続されている電話機のトーンボタンを押してトーン（PB）信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力します。

リモート受信を設定する/ リモート起動番号を変更する

リモート受信を使用するときは設定を【オン】にします。また、リモート起動番号は自分の好きな番号に変更することができます。

お買い上げ時は【#51】に設定されています。

1 <メニュー>→<2>→<2>→<5>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して【オン】
を選択し、<OK>を押す

3 リモート起動番号（3桁）を変更する
ときは、ダイヤルボタンで上書きする

4 <OK>→<停止/終了>を押す

補足

リモート起動番号とは、本製品に接続されている電話機から、本製品をリモート受信させるときに使用するものです。

リモート受信の操作のしかた

1 本製品に接続されている電話機の手話器を持ったまま、電話機のダイヤルボタンでリモート起動番号（#51）を入力する

手話器は約5秒後に戻します。
本製品がファクス受信を始めます。

補足

リモート起動番号は【#51】に設定されています。自分の好きな番号に変更することもできます。⇒35ページ「リモート受信を設定する/リモート起動番号を変更する」を参照してください。

受信時の設定

受信スタンプを設定する

ファクスを印刷するときに、受信した日時と本製品の発信元情報を印刷することができます。

1 <メニュー>→<2>→<2>→<7>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して【オン】
を選択し、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

注記

あらかじめ本製品の日付と時刻を正しく設定しておいてください。⇒14ページ「日付・時計を合わせる〔時計セット〕」を参照してください。

ファクス無鳴動受信を設定する

ファクスを受信したときに着信音を鳴らさないようにします。

1 <メニュー>→<2>→<2>→<1>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して【オン】
を選択し、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

呼び出し回数を設定する

【ファクス専用】モードと【自動切換え】モードのときに、自動受信するまでの呼び出し回数を設定します。

1 <メニュー>→<2>→<1>を押す

2 <▲>または<▼>を押して呼び出し
回数を選択し、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

補足

- 呼び出し回数は、0 回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出し回数を0回か1回に設定してください。
- 本製品に電話機を接続している場合、本製品の呼び出し回数を0回に設定しても本製品に接続されている電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。
- 呼び出し回数を7～10 回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼び出し回数を6 回以下に設定されることをお勧めします。
- 【ファクス専用】モードや【自動切換え】モードのとき、本製品に接続されている電話機の呼び出しベルも、ここで設定された回数だけ呼び出しベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには⇒8 ページ「着信音量を設定する」を参照してください。

再呼び出し回数を設定する

【自動切換え】モードのときに電話がかかってくると、呼び出しベルの後に、「トゥルトゥルッ」と呼び出しベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1 <メニュー>→<2>→<2>→<3>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して再呼び出し回数を選択し、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

補足

本製品に接続されている電話機の受話器を取らなかった場合は、設定した回数だけ再呼び出しベルが鳴った後、自動的に電話が切れます。

受信したファクスを両面印刷する

受信したファクスを出力する際、両面印刷するように設定できます。両面印刷できる用紙は、A4サイズ(60 g/m²~105 g/m²)のみです。

1 <メニュー>→<2>→<2>→<8>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して【オン】を選択し、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

補足

両面印刷を【オン】にすると【自動縮小】の設定に関係なく、【自動縮小】が【オン】と同じ状態で印刷されます。

受信拒否設定をする

迷惑リストに登録することで、特定の相手先からの呼び出しベルを鳴らさずにファクス受信を防止することができます。

注記

ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていないときは、迷惑リストを設定することができません。

迷惑リストに登録する

1 <メニュー>→<2>→<4>→<1>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して、受信拒否したい相手先を選択し、<OK>を押す

3 <1>を押す

4 <停止/終了>を押す

迷惑リストから削除する

1 <メニュー>→<2>→<4>→<2>
を押す

2 <▲>または<▼>を押して迷惑リストから削除したい相手先を選んで、<OK>を押す

3 <1>を押す

4 <停止/終了>を押す

迷惑リストを印刷する

1
 <メニュー>→<2>→<4>→<3>
 を押す

2
 <スタート>を押す

3
 <停止/終了>を押す

自動的に縮小して印刷する

A4サイズの長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に用紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

1
 <メニュー>→<2>→<2>→<6>
 を押す

2
 <▲>または<▼>を押して【オン】
 を選択し、<OK>を押す

3
 <停止/終了>を押す

補足

- 受信した原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約375mmまでの原稿をA4サイズに収まるように縮小して印刷します。約375mmを超えた原稿は縮小せずに2枚以上に分けて印刷します。
- 自動縮小でA4サイズに収まる原稿の長さは目安です。回線の状況により変わります。
- 【自動縮小】を【オフ】に設定したときに、受信のたびに白紙がもう1枚排出されることがあります。そのときは、【自動縮小】を【オン】に設定してください。
- 送信側の原稿サイズがA3やB4などの場合は、送信側で縮小しますので、この機能を【オフ】にしても縮小して受信されます。

ファクス転送機能

ファクスがメモリーに蓄積されると、外出先のファクシミリへ転送（ファクス転送）したり、本製品と接続しているコンピューターに転送（PCファクス受信）することができます。

他の場所のファクシミリに転送する

ファクスを受信すると転送先のファクシミリへ自動的に転送することができます。
転送したファクスの印刷設定は以下の中から選択できます。

- ・【本体でも印刷する】： 受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- ・【本体では印刷しない】： 受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

補足

ファクス転送とメモリー受信、電話呼び出し機能、PCファクス受信を同時に使用することはできません。

1 <メニュー>→<2>→<7>→<1>
を押す

2 以下の手順でファクス転送を設定する

- 1 <▲>または<▼>（【ファクス転送】を選択）→<OK>
- 2 転送先番号を指定→<OK>
- 3 <▲>または<▼>（印刷の設定を選択）→<OK>

3 <停止/終了>を押す

補足

- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。⇒44ページ「外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する」を参照してください。
- 転送先番号は最大20桁まで入力できます。（カッコ【()】やハイフン【-】は入力できません。）
- ファクスが転送されると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- ファクス転送を設定する前に受信したファクスは転送されません。
- ファクス転送前に停電が発生したり、転送先のファクシミリに問題が発生した場合、ファクスデータがメモリーに保存され、電源をオフにしても消去されません。

ファクスをコンピューターで受信する〔PCファクス受信〕

受信したファクスを本製品と接続しているコンピューターに転送することができます。
コンピューターがオフの場合は、受信したファクスを本製品に蓄積して、コンピューターがオンになったときに、まとめて転送します。

転送したファクスの印刷設定は以下の中から選択できます。

- ・【本体でも印刷する】： 受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- ・【本体では印刷しない】： 受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

補足

PCファクス受信とメモリ受信、電話呼び出し機能、ファクス転送を同時に使用することはできません。

1 <メニュー>→<2>→<7>→<2>
を押す

2 以下の手順でPCファクス受信を設定する

- 1 コンピューター側の「PC-FAX受信」を起動→<OK>
ネットワークに接続している場合は、手順2へ進んでください。
- 2 <▲>または<▼>（【<USB>】またはコンピューター名を選択）→<OK>
- 3 <▲>または<▼>（印刷設定を選択）→<OK>

3 <停止/終了>を押す

注記

コンピューターでファクスを受信したい場合は、本製品の【PC ファクス受信】の設定を必ず【オン】にしてください。

補足

- コンピューター側での「PC-FAX受信」の起動については、⇒ユーザーガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。
- 受信したファクスのデータが本製品のメモリーに残っている場合は、手順2で【オフ】を選択しても設定はできません。【すべてのファクスをプリントしますか?】または【ファクスを消去しますか?】と表示されたら【はい】を押して印刷または消去してから設定してください。
- ネットワーク接続されているコンピューターで PC ファクス受信を行う場合は、コンピューター側で「PC-FAX受信」を起動してから行ってください。
- コンピューターで受信したファクスを確認・印刷する方法やコンピューターからファクスを送信する方法については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

外出先から本製品を操作する：リモコン機能

リモコンアクセスを利用する場合は、暗証番号の設定が必要です。

暗証番号を設定する

外出先から本製品を操作するための暗証番号（3桁の数字と*）を設定します。

注記

暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 <メニュー>→<2>→<7>→<3>
を押す

2 ダイヤルボタンで暗証番号（3桁の数字）を入力した後、<OK>を押す
（暗証番号は最後に<*>を加えた4桁の番号になります。4桁目の<*>は変えることができません。）

3 <停止/終了>を押す

外出先から本製品を操作する

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリを使い、外出先から本製品を操作して、ファクス転送などの操作を行うことができます。

1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする

2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号（3桁の数字+（*））を入力する
「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がファクスを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。

3 短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえている間に、リモコンコードを入力する

補足

リモコンコードは、外出先から本製品に対する設定を変更するための番号です。⇒43 ページ「リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕」を参照してください。

4 リモコンアクセスを終了するときは、**⑨⑩**を入力する

補足

- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してから暗証番号を入力します。
- 暗証番号を入力するタイミングを以下に示します。
 - ・ **ファクス専用モードのとき**
メモリ受信の場合、本製品が応答すると、約4秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリ受信が設定されていないときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。
 - ・ **自動切換えモードのとき**
本製品が応答すると約4秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
 - ・ **外付け留守電モードのとき**
本製品に接続されている留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください。（本製品に接続されている留守番電話に応答メッセージを録音する際はあらかじめ4～5秒くらい無音状態を入れておいてください。）
 - ・ **電話モードのとき**
呼び出しベルが約35回鳴るまで待った後、約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- 1つのリモコンコードの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のリモコンコードを入力することができます。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコードを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。
- メモリ受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、設定をファクス転送にしないでください。

リモコンコードで設定できる機能〔コード一覧〕

リモコンコードを入力することにより、本製品を以下のように操作することができます。

機能	コード
メモリ受信を解除します。(電話呼び出し、ファクス転送の設定も解除されます。)	951
ファクス転送に設定します。(番号未登録時は設定できません。)	952
電話呼び出しに設定します。(番号未登録時は設定できません。)	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、 (#) を2回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送が設定されます。	954
メモリ受信を設定します。	956
メモリーに蓄積したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリーに蓄積したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを蓄積しているかを確認します。蓄積しているときは「ピー」という音が、蓄積していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを【留守＝外付け留守電】に変更します。	981
受信モードを【F/T＝自動切換え】に変更します。	982
受信モードを【FAX＝ファクス専用】に変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法(962)」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法(954)」について手順を示します。

外出先からファクスを取り出す

- 1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする
- 2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字+**(*)**)を入力する
「ポー」という応答音が聞こえたら、本製品がファクスを受信し、メモリーに蓄積していることを示しています。
ファクスがメモリーに蓄積されていない場合は、音がしません。
- 3 「ピピッ」という音が聞こえたら、**(9)(6)(2)**を押す
- 4 外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力して最後に**(#)**を2回押す
ファクス番号は最大20桁まで入力できます。
- 5 受話器を戻す

外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

- 1 外出先のファクシミリから本製品にダイヤルする
- 2 本製品が応答し、無音状態の間に暗証番号(3桁の数字+**(*)**)を入力する
- 3 「ピピッ」という音が聞こえたら、**(9)(5)(4)**を押す
- 4 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力して最後に**(#)**を2回押す
転送番号は最大20桁まで入力できます。
- 5 「ピー」の後に「ピピッ」という応答音が聞こえたら、**(9)(0)**を押して受話器を戻す
正しく設定できなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度、操作をやり直してください。

補足

- 外出先からは「*」や「#」を転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入りたいときには、**(#)**を1回押します。
(#)を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしても、操作しているファクシミリによっては回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順2の操作を行ってください。

レポート・リストの種類

本製品では、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

レポート・リスト	内容	操作
送信結果レポート	最新の送信・受信履歴200件の中から、送信履歴のみを表示します。または最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。	表示：＜メニュー＞→＜5＞→＜1＞→＜1＞ 印刷：＜メニュー＞→＜5＞→＜1＞→＜2＞
電話帳リスト	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている内容を「メモリ番号順」または「名前順」で印刷します。「メモリ番号順」を選択した場合は、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの、それぞれに登録されている番号順に印刷されます。	＜メニュー＞→＜5＞→＜2＞
通信管理レポート	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。	＜メニュー＞→＜5＞→＜3＞
プリンター設定リスト	プリンターの設定内容を印刷します。	＜メニュー＞→＜5＞→＜4＞
設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	＜メニュー＞→＜5＞→＜5＞
着信履歴リスト	着信した履歴を印刷します。	＜メニュー＞→＜5＞→＜6＞
ネットワーク設定リスト	ネットワークの設定内容を印刷します。	＜メニュー＞→＜5＞→＜7＞
無線LANレポート	無線LANの接続状態や無線LAN情報を印刷します。	＜メニュー＞→＜5＞→＜8＞

以下のレポートは、自動的に印刷されるため設定は不要です。

- ・同報送信レポート
同報送信が終了すると印刷されます。

注記

用紙サイズの設定がA4、USレター以外の場合は、レポートおよびリストを印刷できません。

送信結果レポートを表示する

送信結果レポートを表示します。表示内容は、送信した最新の最大200件分の結果と詳細についてです。

- 1
1 <メニュー>→<5>→<1>→<1>
を押す
- 2
2 <▲>または<▼>で送信結果を選択
して、<OK>を押す
- 3
3 確認が終わったら<停止/終了>を押
す

レポート・リストを印刷する

- 1
1 印刷する内容を選択する
操作の詳細は、⇒45ページ「レポート・リス
トの種類」を参照してください。
・ 電話帳リストの場合
該当する番号を入力した後、<▲>または
<▼>で印刷方法を選択し、<OK>を押し
ます。
- 2
2 「スタートボタンを押してください」
と表示されたら、<スタート>を押す
- 3
3 <停止/終了>を押す

レポートの出力を設定する

送信結果レポートと通信管理レポートの出力に関することを設定します。

送信結果レポートの出力を設定する

ファクス送信後に送信結果を印刷するための設定をします。
送信結果レポートの出力設定は以下の中から選択できます。

- ・【オン】：
送信後に毎回自動的に印刷します。
- ・【オン+イメージ】：
【オン】の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
- ・【オフ】：
通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
- ・【オフ+イメージ】：
【オフ】の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も印刷されます。
- ・【レポート出力しない】：
送信結果レポートは印刷されません。

補足

リアルタイム送信時には画像は印刷されません。

- 1 <メニュー>→<2>→<6>→<1>
を押す
- 2 <▲>または<▼>で印刷する送信
結果レポートの出力設定を選択して
<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

通信管理レポートの出力間隔を設定する

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

- 1 <メニュー>→<2>→<6>→<2>
を押す
- 2 以下の手順で出力間隔を設定する
 - 1 <▲>または<▼>を押して、出力間隔を選択し、<OK>を押す
 - 2 【7日ごと】を設定した場合、<▲>または<▼>を押して曜日を選択し、<OK>を押す
 - 3 【レポート出力しない】、【50件ごと】以外を設定した場合、ダイヤルボタンで時刻を入力し、<OK>を押す

補足

通信管理レポートの出力開始時間になる前に200件になったときは、通信管理レポートが自動で印刷されメモリーから消去されます。

- 3 <停止/終了>を押す

文字を入力する

電話帳（ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル）の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

コンピューターからリモートセットアップ機能を使用して登録することもできます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用&ネットワークを参照してください。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。入力できる文字の種類は設定項目によって異なります。

ボタン	入力できる文字
	アイウエオアイウエオ 1
	カキクケコ ABC 2
	サシスセソ DEF 3
	タチツテトツ GHI 4
	ナニヌネノ JKL 5
	ハヒフヘホ MNO 6
	マミムメモ PQRS 7
	ヤユヨ ャュョ TUV 8
	ラリルレロ WXYZ 9
	ワヲンー（ハイフン） 0
	＊ ＊
	. @ - _ ' (スペース) ; : < = > ? [] ^ ! " # \$ % & () * + , / €











文字の入力方法（変更方法）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	 を押す
電話番号に「ポーズ」を入れる ※ ポーズ（約3.5秒の待ち時間）	再ダイヤル/ ポーズ を押す ※入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「p」で表示されます。 発信元登録（ ）では入力できません。
文字を削除する	クリア を押す ・カーソルが文字列の最後の後方にあるときは、カーソルの左の1文字を削除する ・カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の1文字を削除する
文字を変更する	を押して変更したい文字に カーソルを移動させ、 を押した後に文字を入力する
スペース（空白）を入れる	を押してカーソルを右に移動させる （文字のときは （2回押）でスペースを入れることができます）
記号を入力する	記号ボタン（）を押して、入力したい記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	を押してカーソルを1文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	を押す

入力例

発信元登録や電話帳登録で「スズキ ケイコ」と入力するときは下記のように操作し、入力が終了したら<OK>を押してください。

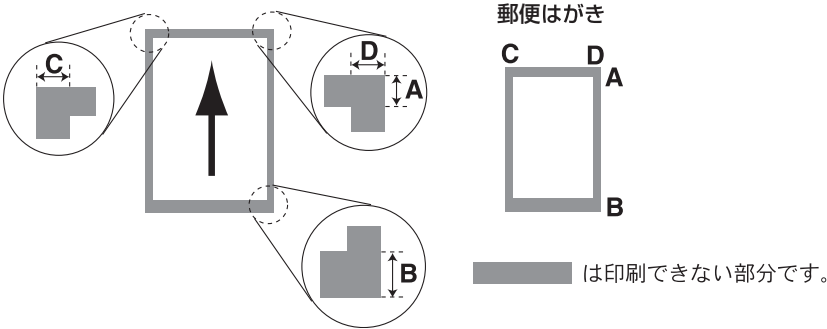
操作のしかた	液晶ディスプレイ表示
 を3回押す	ス
 を1回押す	ス ■
 を3回押す	ス ス
 を1回押し、「」を選択して  を押す	ス ス 〃
 を2回押す	ス ス 〃 キ
 を2回押す	ス ス 〃 キ ■
 を4回押す	ス ス 〃 キ ケ
 を2回押す	ス ス 〃 キ ケイ
 を5回押す	ス ス 〃 キ ケイコ

用紙（記録紙）のこと

本製品で利用できる用紙について説明します。

用紙の印刷可能範囲

用紙には印刷できない部分があります。
以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表のA、B、C、Dはそれぞれ対応しています。



(単位：mm)

サイズ	モード	A	B	C	D
A4	ファクス	3.0	3.0	1.0	1.0
	コピー	3.0	3.0	2.05	2.05
	プリンター	4.23	4.23	4.23	4.23
郵便はがき (100mm×148mm)	コピー	4.0	4.0	3.0	3.0
	プリンター	4.2	4.2	4.2	4.2

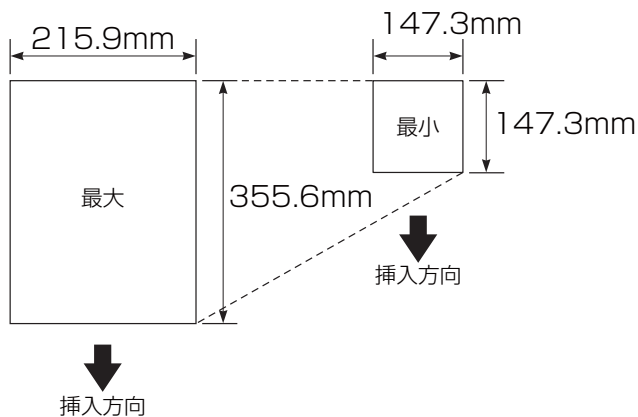
補足

印刷できない部分の数値（表中のA、B、C、D）は、目安として参考にしてください。また、お使いの用紙やプリンタードライバーによっても値が変わってきます。

原稿のこと

原稿サイズ

ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。



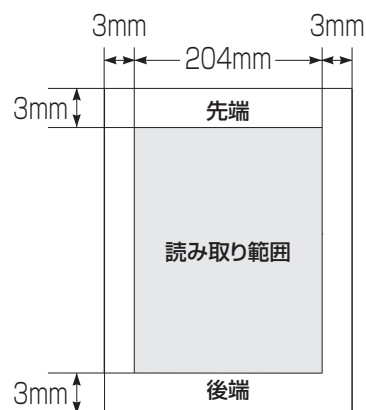
坪量 : 64g/m² ~ 90g/m²
 (ADF（自動原稿送り装置）使用時)
 最大質量 : 2kg (原稿台ガラス使用時)

補足

- 原稿の種類や形状に応じて、ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスのどちらかを選択してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿があるときは ADF から読み込まれます。ADFに原稿がないときは原稿台ガラスから読み込まれます。

原稿の読み取り範囲

A4サイズ of 原稿をADF(自動原稿送り装置) または原稿台ガラスにセットした場合の最大読み取り範囲は次のとおりです。



補足

- 原稿の読み取り範囲は、目安として参考にしてください。
- 原稿を読み取る範囲と用紙に印刷できる範囲が異なります。⇒50ページ「用紙の印刷可能範囲」を参照してください。

製品情報

製品情報の確認/印刷

	機能	内容	操作
確認	シリアルNo.	シリアル番号を表示します。	<メニュー>→<7>→<1>
	バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。	<メニュー>→<7>→<2>
	印刷枚数表示	以下の項目について印刷した枚数を表示します。 • 合計 • ファクス/リスト • コピー • プリンター	<メニュー>→<7>→<3>
	トナー寿命	トナーの残量を表示します。	<メニュー>→<7>→<4>→<1>
	ドラム寿命	ドラムカートリッジの寿命を表示します。	<メニュー>→<7>→<4>→<2>
印刷	テストプリント	印刷の品質をテスト印刷します。	<メニュー>→<4>→<1>

補足

表示される寿命は目安です。

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行っております。
最新のドライバーやファームウェアを弊社公式サイトよりダウンロードすることで、お手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

ドライバーを新しくすることで、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体にトラブルがあるときは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。

ダウンロード： <http://www.fujixerox.co.jp/download/>

設定機能の初期化

初期化とは

各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻したり、電話帳に登録した情報をすべて消去したりすることができます。

初期化できる設定は以下のとおりです。

注記

- 初期状態に戻すと、設定・電話帳などの内容は元に戻せません。初期状態に戻す前に、電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存しておいてください。⇒45ページ「レポート・リストの種類」を参照してください。
- セキュリティ設定ロックがオンになっていると、初期状態に戻す機能は使用できません。セキュリティ設定ロックをオフにしてください。⇒16ページ「セキュリティ設定ロックをオフにする」を参照してください。

機能の種類	内容	操作
プリンター設定	以下の項目をお買い上げ時の状態に戻します。 <ul style="list-style-type: none">• 両面印刷• エラー解除	<メニュー>→<4>→<4>
機能設定	コピー、ファクスなど各種機能でご使用にあわせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	<メニュー>→<0>→<7>→<1>
ネットワーク設定	ネットワークに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	<メニュー>→<0>→<7>→<2>

機能の種類	内容	操作
電話帳 & ファクス	<p>以下の項目の設定をお買い上げ時の状態に戻します。メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかをあらかじめご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • お客様の名前・電話番号 • 発信履歴 • 送付書のコメント • 同報送信する相手先 • タイマー送信する相手先 • リモート起動番号 • 電話帳の内容 • グループダイヤルの内容 • 着信履歴の内容 • ファクス転送先の内容と転送設定 • メモリーの内容（受信データ） • PC ファクス受信データの未転送分（コンピューターに転送したファクスのデータは消去されません。） • リモコン暗証番号 • 通信管理レポート • 送信結果レポート • 回線種別設定 • 送信データ（タイマー送信 / 再ダイヤル） • 迷惑リスト 	<p><メニュー>→<0>→<7>→<3></p>
全設定	上記すべてに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	<p><メニュー>→<0>→<7>→<4></p>
出荷状態リセット	本製品のすべての設定内容や登録情報をお買い上げ時の状態に戻します。	<p><メニュー>→<0>→<7>→<5></p>

初期化のしかた

1 初期化する内容を選択する

- 操作の詳細は、⇒ 54 ページ「初期化とは」を参照してください。
- 液晶ディスプレイにパスワードの入力が表示された場合は、セキュリティ設定ロックがオンになっています。⇒16ページ「パスワードを登録する」で設定したセキュリティ設定ロックのパスワードを入力してください。

2 <1>を押す

<2>を押すと、初期化しないで設定メニューに戻ります。

プリンター設定の初期化の場合

3 <停止/終了>を押す

プリンター設定以外の初期化の場合

3 プリンター設定以外の初期化の場合は、<1>を押す

- 本製品が再起動し、初期化が完了します。
- 自動で再起動しない場合は、<2> を押してください。再起動しないと設定の初期化はされません。

あ

- **アイコン**
画面上で、ファイル、フォルダー、またはプログラムなどを示す絵文字です。
- **インターフェイス**
コンピューターと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやり取りするためのハードウェアまたはソフトウェアです。
- **ウィザード**
Windows Vista®などで、インストール作業を半自動化してくれる機能です。

か

- **海外送信**
海外送信モードを設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも通信状態の悪いところへ通信するときは、海外送信モードに設定しておくこと、確実に通信できます。
- **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルス数を数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。
- **解像度**
画像を読み取る細かさ、あるいは印刷する際の画像のきめ細かさ（滑らかさ）を表す単位です。スキャナーの場合は、1インチ（2.54cm）の寸法原稿を何画素で読み取れるかを表し、プリンターの場合は、印刷原稿1インチの寸法に何ドットで印字ができるかを表します。解像度が高くなるということは、画像を細かく読み取れたり、きめ細かく印刷できたりするということです。
- **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。
- **公衆回線**
アナログ電話回線です。

さ

- **親切受信**
ファクスを着信したときに、間違えて本製品に接続されている電話機の受話器を取ってしまったときでも、自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。
- **スタックコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1枚目を希望枚数分、2枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。
- **セキュリティ設定**
パスワードを登録して、設定の変更を制限したり、印刷/ファクス送信/コピー操作の利用を制限したりできる機能です。

- **ソートコピー**
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿1部すべてコピーした後、再度1ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

た

- **タイマー送信**
指定した時刻にファクス送信する機能のことです。深夜や早朝など、電話料金が割引される時間帯を利用して通信すると経済的です。
- **ダイヤル制限**
ファクス送信を禁止したり、誤って間違えた相手にファクスを送信しないように制限する機能です。ファクスを送信する前に番号を確認してから送ることができます。
- **タスクバー**
画面の上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。
- **定着ユニット**
紙に転写されたトナーを熱で定着するところです。
- **手差しスロット**
標準トレイにセットできない種類やサイズの用紙をセットできる給紙スロットです。
- **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、コンピューターで使用されるハードウェアのことです。
- **電話呼び出し機能**
ファクスメッセージがメモリーに蓄えられると、外出先の電話に知らせる機能です。
- **同報送信**
1つの原稿のファクスの送信時に、複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。
- **トナー**
炭素を主成分とした粉末です。画像の部分にトナーを付着させ、紙に転写し定着させることでコピーおよび印刷が行われます。
- **トナーセーブ（トナー節約モード）**
使用するトナーを節約して印刷する機能です。
- **ドライバー**
コンピューターと周辺機器の橋渡しを行うソフトウェアです。本製品に付属のCD-ROMには、プリンターやスキャナー機能のドライバーが収録されています。
- **ドラムカートリッジ**
用紙に画像を転写するための丸い筒状の部品です。磨耗により劣化すると印刷品質に影響が出るので交換する必要があります。

な

- **ナンバー・ディスプレイサービス**
かけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機などの画面に表示されるサービスです。ご利用になるには電話会社との契約が必要です。

は

- **ファクス転送**
ファクスメッセージがメモリーに蓄えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。
- **プリンタードライバー**
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンターで使用するコマンドに変換するソフトウェアです。

ま

- **メモリ送信**
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに蓄えてから送信する機能です。
- **メモリ代行受信**
用紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに蓄えておく機能です。

ら

- **リアルタイム送信**
データをメモリーに蓄えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。原稿の枚数が多い場合でもメモリーオーバーすることなく送信できます。
- **リダイヤル**
相手先が話し中のときなど、再びダイヤルをすることです。
- **リモート受信**
本製品に接続された電話機から本製品を操作してファクスを受信する機能です。
- **リモートセットアップ**
本製品に対する機能設定をコンピューター上で簡単に行うことができる機能です。
- **リモコンアクセス**
外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。外出先の電話からリモート起動番号を入力することで、さまざまな設定を行います。
- **ルーター**
ネットワーク間（LANとLAN、LANとWAN）の接続を行うネットワーク機器の1つです。
- **ログオン（ログイン）**
コンピューターやシステムでアクセスするときに行う操作です。

数字

- **2 in 1**
2枚の原稿を縮小し、1枚の用紙に出力する機能です。
- **4 in 1**
4枚の原稿を縮小し、1枚の用紙に出力する機能です。

A to Z

- **ADF**
自動原稿送り装置。コピー、ファクス、スキャンするときに、まとめてセットしておけば自動的に原稿を1枚ずつ送り、読み取ります。
- **ADSL**
電話回線（アナログ回線）で従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。
- **BRAdmin Light**
ネットワークプリンターなどネットワークに接続されたデバイスの管理を行うことができるユーティリティソフトウェアです。BRAdmin Lightは、IP取得方法やIPアドレスなどの設定ができます。BRAdmin Lightは、付属のCD-ROMからインストールできます。
- **CSV形式**
Comma Separated Valueの略で、レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。Microsoft® Excel®などの表計算ソフトウェアでは、CSV形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。
- **DPI**
Dot Per Inchの略で、1インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。
- **FTP**
File Transfer Protocolの略で、インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのことです。
- **JPEG**
Joint Photographic Experts Groupの略で、画像データを圧縮して保存するファイル形式の1つです。写真などのデータ保存に適しています。
- **IPフォン**
インターネットを利用した通信方法で、多くのプロバイダーで行っている格安な電話サービスの総称です。一般電話回線と違い、インターネットの混み具合によって雑音が入ったり、通話が途切れるなどの問題が発生する場合があります。このような場合、ファクスでは通信エラーが発生しますので、送受信できません。

● ISDN

NTTが行っている総合デジタル通信網サービスです。「INSネット64」では、デジタル回線で電話とファクスを同時に使用することができますので、アナログ回線2本と同様な使いかたができます。

● ITU-T T.38

電話回線で使われるファクスの信号を、IPネットワーク上で通信するために規定した規格です。

● LAN

Local Area Networkの略で、同一のフロアやビルなどにあるコンピューター同士を接続したネットワークのことです。

● OCR機能

Optical Character Readerの略です。手書きの文字や印字された文字を光学的に読み取り、前もって記憶された文字のパターンと照合して文字を特定し、文字データに変換する機能です。

● OS

Operating System(オペレーティングシステム)の略で、コンピューターの基本ソフトウェア群のことです。

● PC/AT互換機

IBM社が開発したパーソナルコンピューター(IBM PC/AT)の互換コンピューターに付いた名称です。日本ではDOS/Vコンピューターともいわれます。

● PCファクス受信

受信したファクスをコンピューターで画像データとして保存できる機能です。

● PCファクス送信

コンピューターのアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PCファクスの電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● PDF

Portable Document Formatの略で、電子形式書類の1つです。PostScript®をベースとしたフォーマットで、Adobe® Reader®というソフトウェアを使用して閲覧できます。

● Presto! PageManager

書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができるソフトウェアです。

● TIFF

Tagged Image File Formatの略で、画像データを保存する形式の1つです。データの型を表すタグによって、1つの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できます。

● TWAIN

スキャナーなどの画像入力装置と、グラフィックソフトなどのアプリケーションとの間のインターフェイスに関する規格です。TWAIN対応の機器を使用するためには、TWAINドライバーをコンピューターにインストールする必要があります。

● USBケーブル

USBは、Universal Serial Bus(ユニバーサルシリアルバス)の略。ハブを介して最大127台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識する機能や、コンピューターの電源をオンにしたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard(vcf形式)

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。

● WIA

Windows Image Acquisitionの略で、イメージスキャナーなどの画像入力装置用プロトコルです。

商品のお問い合わせ先について

この商品の最新のサポート情報は、<http://www.fujixerox.co.jp/support/index.html> をご確認ください。

お客様にて解決いただけるように、「トラブル対処方法」「操作方法」などについては、弊社ホームページにて、サポート情報を提供しています。

以下のURLから製品名を選択して、ご確認ください。

<http://www.fujixerox.co.jp/support/printer/>

上記の商品サポートページで解決できない場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。

(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーのお問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フジゼロックス

フリーダイヤル 0120-66-2209 FAX:0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く 9 時～ 17 時 30 分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHS および海外からはご利用いただけません。また、一部の IP 電話からはつながらない場合があります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。

担当営業が不明な場合には、プリンター回収センターで受付します。

TEL：0120-88-8641 FAX：0120-22-6993

受付時間：9 時～ 12 時、13 時～ 17 時

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint M260 z ユーザズガイド 応用編

著作者—富士ゼロックス株式会社

発行年月— 2015 年 7 月 第 1 版

発行者—富士ゼロックス株式会社

ME7556J1-1